

日本のカブトガニの 保全に関するシンポジウム

2/18 sat 13:00~17:00

場所：生物圏科学研究科 C206 講義室

主催：広島大学生物圏科学研究科

附属瀬戸内圏フィールド科学教育研究センター

共催：広島大学総合博物館

司会： 富川 光（広島大学大学院教育学研究科）



☆5研究科共同セミナー☆

申込不要
入場無料

13:00-13:05 挨拶

前田照夫（広島大学生物圏科学研究科附属瀬戸内圏フィールド科学教育研究センター）

13:05-13:20 開催主旨説明・広島県竹原市の現状

大塚 攻（広島大学生物圏科学研究科附属瀬戸内圏フィールド科学教育研究センター）

13:20-13:35 「広島県の生物多様性の取り組み」

神川勇人（広島県環境県民局自然環境課）

13:35-14:45 基調講演「カブトガニから考える日本の海岸・河川的环境保全」

清野聡子（九州大学大学院工学研究院環境社会部門生態工学研究室）

14:45-15:00 事例報告(1)「広島県江田島市の現状」

西原直久（大柿自然環境体験学習交流館【さとうみ科学館】）



《休憩 10分》

15:10-15:30 事例報告(2)「曾根干潟の事例」

米谷まり・飯田健・中村龍太（広島大学生物生産学部）

15:30-15:50 事例報告(3)「長崎県の事例」

斉藤英俊（広島大学生物圏科学研究科）

15:50-16:10 事例報告(4)

「国指定伊万里湾カブトガニ繁殖地の保全活動～伊万里市の取り組み～」

船井向洋（佐賀県伊万里市教育委員会生涯学習課）

16:10-17:00 総合討論

モデレーター：大塚 攻

パネリスト：清野聡子、斉藤英俊、船井向洋、西原直久、清水則雄（広島大学総合博物館）



※もよりのバス停は
大学会館前

※本シンポジウムは5研究科の共同セミナーとして認定されます。

問い合わせ：大塚 攻（広島大学大学院生物圏科学研究科）

tel: 0846-22-2362; e-mail: ohtsuka@hiroshima-u.ac.jp